

《拓の会ニュース》

Vol.40

■拓の会例会予定（11月）

☆オブザーバー参加のお申し込みは事務局まで。（TEL: 0155-22-3611）

1G	■日 時:11月15日(水)19:00~21:00 ■会 場:同友会事務所またはZoom	■テーマ: 社長が学ぶと会社はどう変わる? ■話題提供者: ㈱裕信電気 代表取締役 牧野 裕一 氏
2G	■日 時:11月22日(水)19:00~21:00 ■会 場:同友会事務所	■テーマ:「教えて松田さんのこと」～仕事・プライベートの流儀～ ■話題提供者: ㈱つながり 生活支援員 松田 敦 氏
3G	■日 時:11月29日(水)19:00~21:00 ■会 場:かもめスパイス研究所	■テーマ:(仮)「十勝×スパイス & 十勝のキッチンカーについて」 ■話題提供者: かもめスパイス研究所 山中 大輔 氏
4G	■日 時:11月8日(水)19:00~21:00 ■会 場:同友会事務所またはZoom	■テーマ:資金繰表を皆で作ってみよう!実践編 ■話題提供者:参加者全員
5G	■日 時:11月16日(木)19:00~21:00 ■会 場:同友会事務所またはZoom	■テーマ:エゴグラムと承認についてみんなで考える ■話題提供者:参加者全員
6G	■日 時:11月16日(木)19:00~21:00 ■会 場:同友会事務所またはZoom	■テーマ:「今はなき懐かしいお店」コラム ■話題提供者:参加者全員
7G	■日 時:11月8日(水)8:00~10:00 ■会 場:そば工房ふたば	■テーマ:元力士の打つ手打ちそばのおいしさの秘密に迫る 【そば工房ふたば】 ■話題提供者:そば工房ふたば 代表 三井 英明 氏
8G	■11月2日⇒11月16日(木)18:30-20:30に変更です。 ■会 場:同友会事務所	■テーマ:実績と検証・今後に向けてChat GPTの使い方 ■話題提供者:参加者全員
9G	■日 時:11月2日(木)19:00~21:00 ■会 場:とかちプラザ403	■テーマ:地域の魅力～十勝の穴場探索～ ■話題提供者:参加者全員
10G	■日 時:11月21日(火)19:00~21:00 ■会 場:同友会事務所	■テーマ:事業内容から補助金・助成金に繋げる④ ■話題提供者: ㈱あंक 代表取締役 瀬戸 のりこ 氏 ㈱ミドリ機材 代表取締役 小野寺 慎吾 氏

■拓の会例会報告（10月）

<第1グループ>『侃々諤々』

記 録：藤森氏
 ■日 時：10月18日（水）19：00～21：00
 ■場 所：同友会事務所
 ■参加者：13名
 ■テーマ：2代目として求める事と求められる事
 ■話題提供者：㈱ホクト石油 代表取締役 平井 健一 氏

【感想・報告】

27年前にお父さんが「ホクト石油」を開業し、6年前に2代目代表として継承され、灯油・軽油の配送事業はもちろんのこと、プロパンガス販売・家電製品取扱店（アイリスオーヤマ）・エネワン電気供給代理店等を開始し、毎年売上を10%上げるという目標を立てました。地道な努力を重ね、最近は電気代が高騰していることもあり、ガスや灯油の需要が増え、やっと達成金額に近づけたとのこと。 「会社の強みは何ですか？」の問いに「他の業者が出来ない事をお客様目線でやってきたこと」と仰っていて、人の良さが皆さんに伝わっているんだな～と思いました。そう言えば、タイヤショベルを2台も購入して、ボランティアでご近所さんの除雪をされたり、日本ハムファイターズ十勝後援会を立上げるなど、地域貢献度が凄く、関心させられました。平井さんからの問いである「自社に置き換えて承継者に求める事は？」に対し、「人として正しい事・会社をつぶさない事・自分独自の考えでやってほしい・仕事を楽しんでやってほしい（笑顔で）」という回答が出ました。当たり前の意見が難しかったりしますよね。「もし皆さんが明日この会社の社長になったら事業をどのように展開していくか」については、「個客を大事にする・働きたいと思える会社作り・外への発信（ホームページ・SNS等）」などなど…。皆さんには私事のように知恵を絞って頂きました。自分の力を試したいし、視野も広げていきたいと話す平井さんは、今後の展望も見据えており、目標に向かって自分も笑顔で楽しんでやろうとする、その姿勢が最高です。



<第2グループ>

『多様な労働環境・働き方を知り、考え、学びあう』

記 録：塚本氏
 ■日 時：10月25日（水）19：00～21：00
 ■場 所：同友会事務所
 ■参加者：8名
 ■テーマ：9月例会の振り返りと今後の例会について打合せ
 ■話題提供者：参加者全員

【感想・報告】

本日の例会では、円滑に会議を進める方法を学びました。9月例会同様、付箋と模造紙を使ったグループワークで、「高校生の実態（就職について）」というテーマで「高校生にどんな質問をするか」を考えるワークでした。やはり自分と違う意見や見方を聞く事はとても楽しく、自分の視野を広げられることができ、時間がとても短く感じました。とくに付箋と模造紙を使い全員の意見を一目でわかるようにすることで、皆の意見を尊重しながら議論できるということが、とても素晴らしい方法だなと感じました。ただ、なかなかやる機会がないため、たくさんの意見をまとめる事が難しく、さらにまとめた後に議論の着地点にどう向かって行くか道筋を立てる事もまた難しく感じました。最後に、今回のような付箋と模造紙を使った議論は数を重ねて行くと進行方法が身につく、より良い議論になると思うので、是非今後の例会でも組み込んで欲しいと思いました。



《拓の会ニュース》

Vol.40

■拓の会例会報告（10月）

<第3グループ>『とかちの魅力を考える会』

記録：相澤氏

■日時：10月26日（木）18：30～20：00

■場所：(株)高森商店

■参加者：3名

■テーマ：十勝で燻製をはじめて

■話題提供者：(株)高森商店 代表取締役 高森 圭司 氏

【感想・報告】

今回の例会は、帯広市内の東1条南8丁目5番地1にある燻製専門店「高森商店」にて、話題提供者として(株)高森商店 代表取締役 高森圭司氏にお話を伺いました。

帯広市出身で旅行中に小樽市にあるベーコン専門店「めるかーど」のベーコンを食べ衝撃を受け、同店に転職し修行を積み独立し、地元帯広に今年出店されたとの事です。高森商店の燻製は着色料などの添加物を使わず、自分自身でチェーンソーを使い大木からチップを削り、多品種のチップをブレンドするなど、こだわりや探求心に溢れる方でした。十勝モール豚やチーズなど地元の食材を使い、将来は養豚場を営みたいなど、地元根付く活動を行っていききたいとの事でした。地元を愛し将来を見据え目標に向かい日々挑戦する姿に、私も今後更に地域に貢献できる活動を行っていったらと思える会になりました。



<第4グループ>『会計・財務の超初級』

記録：岡村氏

■日時：10月5日（木）19：00～21：00

■場所：同友会事務所

■参加者：7名

■テーマ：資金繰表を皆で作ってみよう！

■話題提供者：参加者全員

【感想・報告】

実際に資金繰り表を作成し活用している(株)あんく 瀬戸社長に作り始めた経緯、記載要領、活用方法などを伺いました。瀬戸社長のまとめられた「資金繰り表の必要性・効果・作り方」は簡潔に明解に説明されており正に拓4メンバーの特典でした。手に入れたい方はぜひ拓4登録、又はオブザーバー参加を。資金繰り表は過去の実績と数か月後を見通し予測した現預金の動きであり、将来を想定、評価することにより借入、設備投資、事業規模の増減等の施策を早期に講ずることが可能になるとのこと。そしてさらに固定費、変動費から損益分岐点を計算するなどして経営の見直し等にも発展させていく等々…。ただ、毎月の入力が必要なことから作成されていない方、ハードルが高く感じる方が多いとのこと。実際、私（岡村）自身も最近やっと手探りで資金繰り表を作りましたが、すぐに金融機関への説明（借り入れの）資料とすることができました。次回は参加者に資金繰り表を作成してきてもらいそこで出た疑問、問題点、わからないを「みんなで解決していこう」とします。今回参加できなかった方、みんなの話を聞くだけでも参加になりますよ。



<第5グループ>『持ち味を活かす職場づくりを考える』

記録：讃岐氏

■日時：10月19日（木）19：00～21：00

■場所：同友会事務所・Zoom

■参加者：7名

■テーマ：自分の持ち味から見えること②

■報告者：関口農場 代表 関口 孝典 氏
社会保険労務士法人土田陽子事務所 代表社員 土田 陽子 氏

【感想・報告】

今回は8月例会で行った「自分の持ち味からみえること」の続きとして、前回お話を聞けなかった方の行動例の達成率から見る持ち味について話しました。

自分で出来ていないと思っていても、他者から見ると出来ていることを知ること、本当に自分のできないこと・苦手なことを理解して周りに助けを求められる環境は、お互いに居心地がよい職場になると学びました。お互いがお互いのこと・自分のことを理解すると、仕事の割り振りが変わり、不満が生まれず、スムーズなフォローに繋がります。そうすると自然と助け合いが生まれたりして、みんなが自主的な職場にもなります。

さらに習慣化しているような気づいていない自分の長所・偉いところを発見することで、自己肯定感および自らのコンディションをあげ、自分の能力を引き出しやすくなり、パフォーマンスの向上に繋がることも、自己理解することのメリットだと学びました。

<第6グループ>『とかちカルチャー発信』

記録：小野寺氏

■日時：10月23日（月）19：00～21：00

■場所：SLOW living

■参加者：5名

■テーマ：「熊」コラムの発表

■話題提供者：参加者全員

【感想・報告】

今月の例会は高原支部長が出店したショップ「スロウリビング」を会場に提供いただき例会を開催させていただきました。今回で3回目となるコラムの発表で、テーマは「熊！」（なぜテーマが熊になったのかは不明です…）。今回も参加者5名の持ち味が活かされたコラムの内容になりました。松久さんはさすがに長年毎月執筆されているだけに、ネタの引っ張り方や表現の方法が面白く、関心させられました。高橋さんのコラムは趣味のアウトドアと絡めて、自然界と人間の関係性を考えさせられる内容。佐々木さんは熊で思いついたネタをひたすら箇条書きで30項目以上も出すという引き出しの多さ。そして高原支部長は木彫りの熊の歴史と現状についてのコラムでした。過去に木彫り職人さんの取材をされたことがあったとのことで、短い文章にも関わらず学びのある内容でした。私は3回連続で我が子ネタ…。人に読んでもらえる文章を書くということは簡単なことではありませんが、6グループのメンバーとコラムを書いていながら、少しでも北海道・十勝のカルチャーを発信できるよう模索していきたいと思えます。



《拓の会ニュース》

Vol.40

■拓の会例会報告（10月）

<第7グループ> 『LiveCommerce（ライブコマース）』

※諸事情により10月例会は11月に延期します。

★第7グループの過去の配信は、YouTubeチャンネル「十勝いいとも！」で視聴できます！

「十勝いいとも！」は十勝でおいしいものを作っている人々と、おいしいものが好きな人が、良い友となり、一緒においしさを楽しめる様に交流するチャンネルです。これまでにたくさんの企業さんを訪問し（時には緑豊かな畑の中まで車を走らせ…）、現場で熱い想いや魅力的な商品、こだわりの生産物を、時にユーモアを交えながら語っていただきました！ここだけの裏話や、思わずクスリと笑える場面もあります。十勝の魅力たっぷりのアーカイブをご覧ください！そしてこの機会にぜひ「十勝いいとも！」の登録をお願いします！



YouTubeチャンネル
はこちら↓



<第8グループ>

『気軽に話そう！あなたのマーケティング実践会』

記録：永松氏

■日時：10月12日（木）18：30～20：30

■場所：同友会事務所

■参加者：10名

■テーマ：自己の価値を知る、魅力発掘⑤

■話題提供者：㈱おかだ商産 代表取締役社長 岡田 昭彦 氏

【感想・報告】

今回の例会ではビジネスを第三者に伝える難しさを改めて感じました。またデジタルマーケティングの重要性を再認識し、今後はより積極的に取り組んでいくという岡田氏の熱意に大いに学ぶことができました。

具体的には、SNSやWebサイトを活用して情報発信を強化、ターゲットを明確にして、そこに響くようなコンテンツを制作するなどの課題もお話しいただきました。他にも人の役に立つために事業展開をし、仕組み作りの重要性や自分のビジネスを表現するときに言語化すること、コロナ禍でマーケティングの重要性を学び、自社を選んでもらうために報告書を生産者と買い手に送り、価値提案をするなど、創意工夫をしながらも前例のないことをやっていると、時々不安になるといふ本心をお話しくんだり、業種に関わらずに抱く経営者の本音も聞かせていただきました。



<第9グループ> 『よろず見聞学（楽）』

記録：近藤氏

■日時：10月13日（金）19：00～21：00

■場所：とかちプラザ304

■参加者：7名

■テーマ：地域の経済～十勝経済の近況と考察～

■話題提供者：参加者全員

【感想・報告】

十勝管内の経済状況として情報が入ってくるのは、農業でも特に酪農業が厳しいという声が聞こえてきます。またそれに直接関わる産業も同じく厳しい状況と聞いています。飼料高騰、燃料高騰、消費減退、人員不足等が原因なのではないでしょうか。農業関連産業が十勝経済のメインの牽引力なので、農業経済が減退すると深刻な問題となってきます。建設業界は農業関連物件、一般住宅物件が減少。公共工事も減ってきており、さらに材料費が高値止まりしていて、今後価格が下がる見込みは無いとのこと。歯科業界に関しては、コロナ禍で矯正する人が増えていましたが、コロナ終息と共にその数も下降してきています。保育業界は道内でも出生率はそんなに下がっていないので現状維持していますが、人口減少の自然減は確実に進んでいます。また十勝管内でも帯広市は企業誘致が非常に鈍く、今後は民間ベースで誘致等を行っていかねばならないのではないか、という話もありました。

M&Aに関しては、M&Aセンター等からDMや営業電話は来るが、手数料や売却希望企業の規模が莫大で現実的とは言えず、現状は小規模企業同士が水面下で後継者不在等で売買されています。新ビジネスに関しては、独自で別事業を立ち上げるか同業種拡大が多く、全くの新ビジネスの確立は厳しいと思われる。ある程度共業してから新ビジネスや新規分野の展開等が妥当であると思われる。



<第10グループ> 『補助金・助成金を考える』

記録：岡村氏

■日時：10月17日（火）19：00～21：00

■場所：炭焼き梅酒房 甘味処 鶯

■参加者：9名

■テーマ：事業内容から補助金・助成金に繋げる③

■話題提供者：尙遠藤損害保険事務所

代表取締役 遠藤 嗣延 氏

【感想・報告】

遠藤社長より、会社の成り立ちから現在までのお話を伺いました。先代の父親が昭和41年火事に見舞われたが火災保険が下りなかったことから、同じ思いをする人を減らそうと保険代理店を立ち上げたとのこと。補助金申請は4度チャレンジし3回採択されているそうです。足寄本社と帯広支社でそれぞれ足寄商工会、帯広商工会議所に登録されており、足寄でビジネスフォン入替・空気清浄機を購入、帯広でホームページ作成について補助金を受けられましたが、商工会では良かったものが商工会議所では不可となる項目があったとのこと。同じ補助金でも、解釈が違うのか寛容なのか大雑把なのかわからないところがあるものの、良い所をうまく利用するには多くの情報を得てうまく立ち回ることも必要なんだということ学びました。現在は設備の更新、従業員の採用教育等に活用できる補助金を探しておられるとのことでした。この後お酒と美味しい肴で甘味処鶯を堪能しました。

